

日比円滑化協定の調印に関する声明

7月8日、フィリピンと日本は日比円滑化協定に調印する予定だ。新民族主義者同盟(BAYAN)、AWC日本連、ガブリエラ、リラ・ピリピーナ、ミグランテ日本支部および世界各地の民衆組織は、アジア太平洋地域における軍事化と紛争の激化に向けた危険な一歩としてこの動きを強く弾劾する。

この協定は、平和と安定を促進するどころか、アメリカ帝国主義の指揮の下、この地域における日本の覇権的野望が再び高まっていることを示すものだ。日本が、アジア全域で無数の民衆の命を奪った戦時下の残虐行為、とりわけ「慰安婦」問題を完全に解決せず、正義を果たさずに、軍事的プレゼンスの拡大を図っていることは、非常に憂慮すべきことである。

日比円滑化協定の調印は、過去の痛ましい歴史と未解決の不正義に対する露骨な無視を示している。これは日本の戦時侵略のすべての生存者、とりわけ認知と賠償を求め続けている元「慰安婦」たちに対する侮辱である。この協定は、彼女たちの闘いを踏みにじり、歴史の忘却と不処罰のサイクルを永続させるものである。

私たちは、この反人民的で平和に逆行する計画を追求しているフィリピン政府と日本政府を弾劾する。この軍事協定は帝国主義勢力の利益にのみ役立ち、一般市民の生命と福祉を危険にさらすものだ。この協定は、医療、教育、貧困の軽減など差し迫った社会的ニーズから重要な資源をそらし、代わりに無駄で危険な軍事体制増強に流し込もうとするものである。

この協定は、いわゆる「米国のアジア回帰」を推進するものであり、日本とフィリピンは中国包囲のための米国の「パートナー」として機能している。米国の絶え間ない戦争挑発は、アジア太平洋地域の緊張を拡大し、この地域で公然たる軍事紛争が勃発する危険性を高めている。フィリピンと日本の民衆、そしてアジア太平洋地域のすべての民衆は、真の平和と自由を得るに値するものであり、帝国主義の覇権闘争の駒として利用されるべきではない。

私たちは、全世界の平和を愛するすべての民衆に、このフィリピンと日本の軍事協定に反対して団結するよう呼びかける。私たちは以下を要求する。

1. 日比円滑化協定の即時破棄
2. 米比訪問軍協定、米比防衛協力強化協定、および地域の緊張を高めフィリピンの国家主権を踏みにじるすべての協定の破棄
3. 日本の戦時下の残虐行為のすべての被害者に対する真の正義と賠償
4. 軍事費を社会サービスと民衆のニーズに再配分すること
5. 日本政府が戦争の道から引き返し、憲法の平和条項を遵守すること
6. フィリピン政府が中国および米日の双方とのあらゆる交渉の指針となるべき独立した外交政策を採用すること

団結し、軍事介入と侵略戦争に反対して闘おう。歴史的真相を尊重し、民衆の権利を擁護し、あらゆる形態の帝国主義の支配を拒否する公正で永続的な平和のために。

2024年7月8日

署名:

新民族主義者同盟(BAYAN)、アジア共同行動(AWC)日本連絡会議、ガブリエラ、リラ・ピリピーナ、ミグランテ日本支部